

2-11 下水汚泥を活用した汚泥発酵肥料（株式会社沖縄有機）

下水汚泥 固形 県内

○ 株式会社沖縄有機は、浄化センターで発生した下水汚泥を活用し、主に下水汚泥を使用した「ソイルエース」、下水汚泥とさとうきびの搾汁かすを混合した「バガス肥料」を製造。

■ 国内資源の種類 ■ 肥料の種類・肥料名称 ■ 取組の経緯・内容・成果（見込み）

- ・下水汚泥
- ・さとうきび搾汁かす



汚泥発酵肥料
 ・ソイルエース
 ・バガス肥料

取組の経緯
 ・当初は家畜ふん尿由来の肥料を製造していたが、県から下水汚泥の処理を依頼され取り扱ったことが始まり。引き取った下水汚泥は、コンポスト化が条件となっている。

取組の内容
 ・さとうきびの搾汁かすであるバガスを約15%混合した「バガス肥料」は、土壌物理性の向上などにも効果があり、農家に広く受け入れられている。主に下水汚泥を原料としている「ソイルエース」は、ゴルフ場や造園事業で利用されている。
 ・肥料効果及び土壌改良効果と含水率約35%の取扱いやすさを全面に打ち出し普及を図っている。
 ・年2回、重金属含有量など成分分析を実施し、安全性及び品質を確保。
 ・野菜での栽培実証では、良好な結果を得ており、今後花きでも栽培実証を行う予定。

■ 作物 ■ 主成分の含有量（%）、特徴等

- ・さとうきび
- ・野菜

	N	P	K
ソイルエース	3	5.9	0.4
バガス肥料	2.8	5.7	0.3

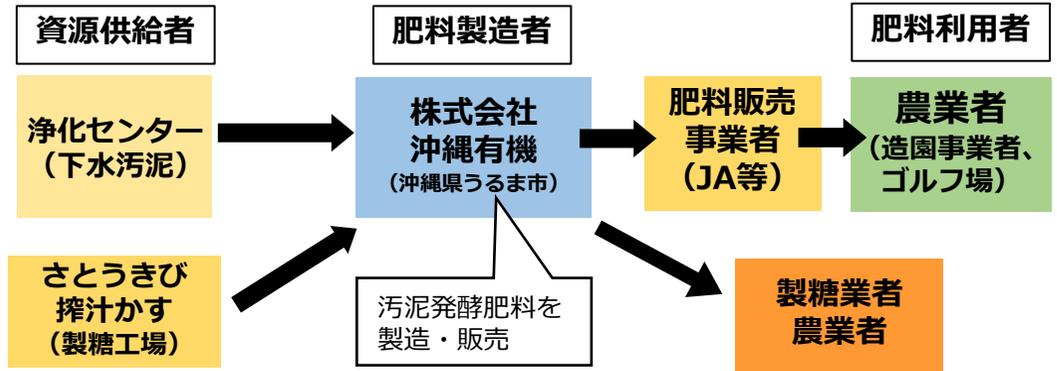
※成分分析の結果

成果（見込み）
 ・従来の肥料と比較し、収量は同等程度を得るとともに、肥料コストは1～2割低減。



ソイルエース バガス肥料

■ 主たる取組主体と肥料利用までの流れ



■ 今後の課題・取組

- （課題）**
- ・ペレット化等による付加価値の創出
 - ・導入農家戸数、散布面積の増加
- （取組）**
- ・農家のニーズを踏まえた新たな肥料の製造（家畜ふんをブレンド）
 - ・利用促進に向け施肥効果の分析
 - ・散布作業の代行により農家負担を軽減



パンフレット